

資料番号	5
------	---

令和6年8月22日
課名 健康福祉局安心保育推進課
担当者 課長 辰巳
内線 3180

保育所等の令和6年4月1日現在の待機児童数について

1 要旨・目的

保育所等の令和6年4月1日現在の待機児童数について、報告する。

2 現状・背景

県内において継続して発生している待機児童の解消のため、市町と連携して保育の受皿の拡大を図るとともに、保育士人材バンク等による保育士の確保を積極的に進めてきたことで、現行の方法による調査開始以降、初めて待機児童数0人を達成した。

3 概要

(1) 調査対象

県内全市町（23市町）

(2) 調査期間

令和6年4月1日現在

(3) 調査結果

前年度4月の待機児童数より3人減少し、0人となった。

区分		R2.4.1	R3.4.1	R4.4.1	R5.4.1	R6.4.1
待機児童数 (前年度増減)		39人 (△89人)	14人 (△25人)	8人 (△6人)	3人 (△5人)	<u>0人</u> (△3人)
年齢区分	0歳	2人	0人	0人	0人	0人
	1・2歳	35人	11人	8人	1人	0人
	3歳	2人	3人	0人	2人	0人
	4歳以上	0人	0人	0人	0人	0人
発生市町		3市	2市	2市	1市	—
		広島市 33人 福山市 5人 三原市 1人	広島市 11人 福山市 3人	広島市 5人 福山市 3人	広島市 3人	—
定員数※		73,058人	73,506人	73,648人	73,777人	73,958人
利用児童数※		64,405人	63,981人	63,295人	62,545人	62,215人

※定員数、利用児童数には、特定教育保育施設（保育所、認定こども園）のほか、特定地域型保育事業（小規模保育事業等）を含む。

(4) 待機児童数が0人となった要因

広島市	一部の地域において、想定を上回る保育ニーズがあったことにより、待機児童が発生していたが、これまでの取組により待機児童数が0人となった。 ・ 待機児童が見込まれる地区等における分園整備などの実施 ・ 定員増に伴う保育士の安定的な確保に向けた就職支援、保育士の業務負担軽減のためのICT化推進及び処遇改善等の離職防止策などの実施 ・ 各区役所の福祉課や保育サービスアドバイザーによる保護者ニーズの的確な把握と入園に向けた相談事業の実施
-----	--

(5) 今後の対応

令和6年度に策定する第3期市町村子ども・子育て支援計画に基づく保育需要の推計を基に、主に改修整備による受け皿の充実を行うとともに、保育ニーズに応じた保護者へのきめ細かなオペレーションを行うことで、待機児童0人を継続していく。